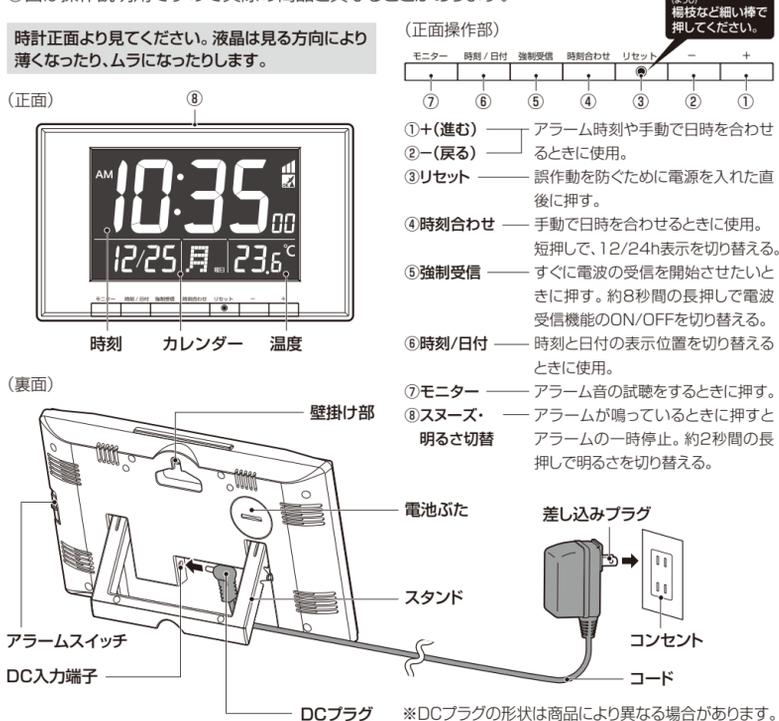


各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なる場合があります。



1.電源のセット

(1) 停電補償電池をセットする



停電補償電池の役割

停電補償電池は停電などでAC電源から電力を得られないときに、日時やアラーム時刻を保持し、定期的に受信を行うためのものです。停電補償電池のみでは日時、アラーム時刻のセット、照明やアラームなどの機能は使えません。必ずAC電源アダプターを使用してください。

停電などでAC電源アダプターから電力が得られないときに、日時を保持するための停電補償電池をセットしてお使いください。

必ずAC電源アダプターを本体から取り外して作業をしてください。

- 電池ふたの▲印をCLOSEからOPEN位置に回して、電池ふたを取り外す。
- 電池の+表示を上にして入れる。
- 電池ふたの▲印をOPENからCLOSE位置に回して、電池ふたを取り付ける。
※電池が取り出しにくいときは、すまじまに楊枝などを挿し込んで電池を持ち上げてください。
※金属製のピンセットを使用しないでください。電池がショートすることがあります。
※交換用の電池は、家電量販店やコンビニなどでお買い求めください。
※付属の電池はお試用ですので短い期間で電池の交換が必要になることがあります。

危険 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

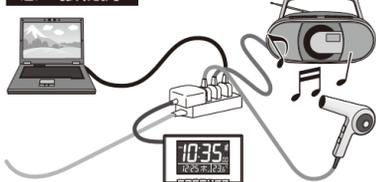
小さなお子様の手の届く所に置かない
ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。
ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

(2) ACアダプターを接続する

- 警告** 必ず付属のAC電源アダプターを使用する。他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがあります。
- 警告** 使用中のAC電源アダプターは熱を持ちます。異常ではありませんが、ふれられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止してください。

AC電源アダプターをAC100Vのコンセントにしっかり差し込み、時計のDC入力端子にプラグを根元まで差し込んで接続します。

悪い接続例



家電製品やパソコンなどが接続されたテーブルタップにAC電源アダプターを接続すると、ノイズの影響により、受信に失敗することがあります。

接続するときのポイント

- ※単独のコンセントに接続する。
- ※AC電源アダプター本体と時計を30cm以上離す。

2. 標準電波を受信させて日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせる場合には、(手動での時刻合わせ)をお読みください。

◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- 楊枝などでリセットを押す**
※リセットを押すと、「ピー」と鳴って受信を開始します。
※リセットを押すと、2019年1月1日、AM 12:00、アラーム時刻はAM6:00に初期化されます。
◎受信中はボタンに触れないでください。
- 20分待つて受信結果を確認する**
受信は、最長で約20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
⇒【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】



- 受信マークは受信成功後、約24時間点灯。
- 受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットを押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

3. アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる



- アラームスイッチをOFFにする
●アラーム状態のときは、アラーム時刻の設定はできません。
※アラーム状態とは、アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用している状態のことです。
- +(進む)または-(戻る)を押してすぐ離す「アラーム」とアラーム時刻が点滅。
- +(進む)または-(戻る)でアラーム時刻を合わせる
- 約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

アラームのON/OFF設定



スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときにスヌーズを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目はスヌーズを押してもアラーム音は止まりません。止めるには、アラームスイッチをOFFにしてください。

アラームオートストップ(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約5分で止まります。アラームの状態はONのままです。

アラーム音の試験(モニター)

モニターを押している間、鳴り続けます。日時やアラーム時刻の設定中、アラーム状態のときは使えません。

アラームご使用上のご注意

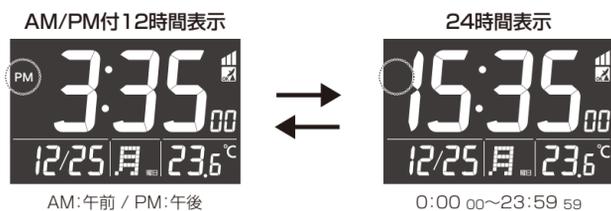
- アラームスイッチがONの状態では、OFFにするまで毎日アラームが鳴ります。
- 停電などでAC電源から電力が供給されないときは、アラームは鳴りません。

時刻表示の切り替え

次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。
●アラーム状態 ●アラーム時刻、日時の設定中

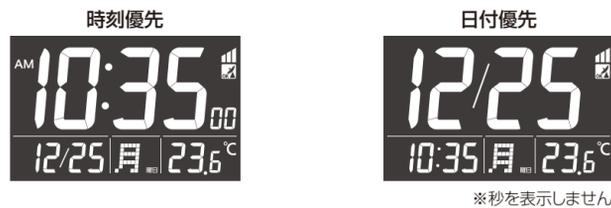
時刻表示形式の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。



表示位置の切り替え

時刻/日付を押すと時刻と日付の表示位置が入れ替わります。



明るさの切り替え

照明の明るさは、強、中、弱の3段階です。
スヌーズを約2秒間押し続けると、1段階ずつ明るさが低下します。
※「弱」のときにスヌーズを押し続けると「強」になります。
※連続して切り替わりませんので、切り替えるたびにボタンを押し直してください。
※アラームが鳴っているときやアラーム時刻、日時の設定中は明るさを切り替えられません。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分、秒)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分、秒)でのボタン操作
点滅している数値を+(進む)または-(戻る)で合わせてから時刻合わせを押すと数値を確認して次に進みます。

ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
+(進む)	1つ進む	早送り
-(戻る)	1つ戻る	早戻し

操作例 2023年12月25日 AM10:35に合わせる



強制受信とリセット操作について

強制受信 (受信機能がONのとき)
場所を移動したときなどに、強制受信を押すと「ピッ」と鳴って受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。

- アラーム状態のとき ●手動で時刻またはアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2019年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。照明の明るさは強に設定され、受信機能がONのときは、受信を開始します。

電波受信機能のON/OFFを切り替える

ON:定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。
OFF:電波を受信しません。遅れ進みが発生したときは、手動で日時を修正してください。
強制受信ボタンを約8秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わります。



○ON/OFFが切り替わるときは、「ピッ」と鳴り、液晶部左下にON/OFFが約3秒間点滅します。
○ONにしたときは、電波の受信を開始します。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

※AC電源アダプターを取り外しても、停電補償電池により設定は保持されます。